

## 実施計画書 兼 事業説明書

### 【政策 2：環境】

#### 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

【施策 2-1】 ごみの減量化と再資源化を進めます

【施策 2-2】 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

【施策 2-3】 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
------	---------------------

所 管	市民生活部
関 連	建設水道部
関 連	

◆ミッション

- ・豊かな自然環境を守り、水を保全し、ポイ捨てごみなどの無い美しい小諸をつくる。
- ・リサイクル推進、化石燃料の使用削減、省資源・省エネルギーの推進、再生可能エネルギー活用の循環型社会をつくる。
- ・環境について市民、事業者、行政とで学び合い、お互いに環境意識を高めあう。

◆方 針

- ◎豊かな森林・水資源など恵まれた自然環境を積極的に保護・活用する。  
小諸の貴重な財産である自然環境を、持続可能なものとするため、生物多様性、水と緑を保全し、自然とのふれあいを推進する。
- ◎ごみの減量化と再資源化を進める。  
省資源、省エネルギーの観点からできるだけごみを出さない生活様式への啓発を進め、ごみの分別と再資源化を進める。処理施設であるクリーンヒルこもろを環境学習の拠点として活用する。
- ◎省エネルギー政策、再生可能エネルギー普及を推進する。  
地球温暖化防止、二酸化炭素(CO2)削減のため、省エネルギー意識の啓発、省エネルギー機器の普及促進と再生可能エネルギー活用促進を図る。太陽光発電は今ある自然環境や景観との調和を図りながら推進する。
- ◎市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全する。  
公共用水域の水質を保全するため、下水道、農業集落排水の接続推進、合併浄化槽設置を推進する。省エネルギーで効率的な下水処理を図るため、処理施設の統合、老朽化対策を進める。
- ◎環境美化活動を広げ美しい小諸をつくる。  
市民、事業者、行政の協働により、市内全地域で景観美化活動に取り組み、多くの人が訪れたくなる、住みたくなる美しい小諸づくりを進める。

#### ◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 各区衛生委員、衛生自治会、ごみ減量アドバイザーの活動を広報し、ごみ減量化、リサイクル推進の市内の先進的な取り組みを全市に広げる。
- 市民、事業者の環境意識、環境美化意識が高まるよう、広報活動、啓発活動をICTを活用して行う。
- 地域に応じた手法で快適生活率(水洗化率)を高めるとともに、下水道事業の効率的運営を図るため処理施設の統合を推進する。
- 小諸市のごみ処理(し尿、浄化槽汚泥を含む。)の長期的な方向性について、関係職員による定期的な研究を進める。

#### ◆今後の取り組みのうち令和2年度重点方針と目標

- 今まで取り組めていなかった環境政策(再生可能エネルギー、生物多様性)について取り組む。  
目標 市内のビオトープ関係団体等と協力し安藤百福センターを、クリーンヒルこもろとともに環境教育の拠点として活用する。
- 事業系ごみの減量に向け取り組む。  
目標 事業系ごみ袋の分別を徹底するための内容調査の実施と指導
- 集合処理未普及地域内での整備方針を計画する。  
目標 下水管路整備を予定する未普及地域において、令和3年度との2年間で利用者意見を反映させた整備方針を計画する。
- 小諸市のごみ処理(し尿、浄化槽汚泥)の長期的方向性について、研究を進める。  
目標 月2回の定例研究会により、現在の処理の経過、状況、課題について整理しまとめる。

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-1	ごみの減量化と再資源化を進めます

所 管	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

クリーンヒルこもろが完成し、自前の施設で安定的なごみ処理が可能となった。今後は、環境保全協定書に定めた排ガス自主規制値等を順守するとともに、市民に信頼され親しまれる施設運営の継続が重要である。また、クリーンヒルこもろを環境教育の拠点として定着化させていくことも必要である。

#### ◆方針

目的
豊かな自然環境を守るため、市民や企業等が、ごみの分別を徹底するよう啓発に努める。また、ごみの減量、再資源化を推進することにより、ごみ処理費用を抑制し、温室効果ガスの発生抑制に努める。 クリーンヒルこもろ周辺の環境保全を図るため、環境保全協定書で定めた排ガスの自主規制値を順守していく。

#### ◆今後の取り組みのうち令和2年度重点方針と目標

ごみ減量アドバイザーを中心に衛生自治会と連携しごみの減量化に向けた市民への啓発活動を継続するとともに、事業系一般廃棄物については、定期的な搬入検査の実施や事業者向け分別表の活用を推進し、適正処理や分別の徹底により減量化を目指す。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
①ごみの分別の徹底が市民や企業等に浸透し、再資源化が推進され、ごみの排出量が減少し、ごみ処理費用が削減された状態。 ②廃棄物処理施設が安定的かつ経済的に運営され、周辺住民が安心して生活できる状態。
設定理由
①市民のごみの分別に対する意識が向上すれば、資源物が適正に分別され、資源化率が向上し、資源物の増加による売却収入が増加し、ごみ処理費用の節減につながるから。 ②安定的、経済的な処理施設運営により施設の長寿命化が図られ、市民から信頼される施設となり周辺環境の保全にも寄与するから。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	ごみのリサイクル率(環境省が公表)						
設定理由	ごみをきちんと分別すれば、資源として循環させることができ、ごみ処理経費等の削減につながるから						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	31.7	計画	31.8	31.85	31.9	30	
		実績	34.4	28			
指標名	家庭から排出される、ひとり一日当たりのごみ量(世帯数の増加により、ごみが増加している現状がある)						
設定理由	燃やすごみを減らすことにより処理費用の削減と焼却した時の温室効果ガスの削減につながるから						
算式						単位	g
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	582	計画	588	585	582	580	
		実績	582	581			
指標名	事業系燃やすごみの年間排出量						
設定理由	燃やすごみを減らすことにより処理費用の削減と焼却した時の温室効果ガスの削減につながるから						
算式						単位	t
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	2,022	計画	2,010	2,001	1,991	2,000	
		実績	2,194	2,210			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>①ごみ減量アドバイザーや衛生自治会と連携し、各区で出前講座を実施しごみの減量と再資源化に取り組む。</p> <p>②コミュニティテレビこもろ等を活用し、ごみの分別、再資源化の啓発を行う。</p> <p>③事業系ごみの展開調査を実施し、ごみの分別の指導を徹底することにより、燃やすごみの減量化を図る。</p>
--

◆個別計画

<p>ごみ処理基本計画／分別収集計画／一般廃棄物処理実施計画</p>
------------------------------------

◆特記事項

<p></p>
---------

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
清掃総務費運営費		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の適正処理及び資源化に関する的確な情報収集と市民への周知</li> <li>・災害廃棄物対策の推進</li> </ul>					
投入指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費		15,188 千円	15,535 千円	15,535 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	6,565 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		8,623 千円	15,535 千円	15,535 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量や資源化に関する情報を「ごみ資源収集カレンダー」等に掲載するとともに、あらゆるメディアを活用して市民に周知する。</li> <li>・災害廃棄物の迅速、円滑かつ適正な処理のため、国の指針や県の計画等と整合を図りつつ、対策を推進する。</li> </ul>					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみ資源収集カレンダー」「ごみ資源分別ガイドブック」「市公式ホームページ」等を活用し、ごみの減量化に関する啓発及び排出基準等の周知を行う。</li> <li>・小諸市衛生自治会へ交付金を交付し、市民協働による地域の環境美化活動(不法投棄監視及び回収、集積所の維持管理等)を推進する。また、衛生委員研修会を開催し、衛生委員の役割や活動内容について理解を得る。</li> <li>・災害廃棄物処理計画に関する情報収集や担当職員のスキルアップを行うなど、策定に向けた調査研究に着手する。</li> </ul>						
活動指標 特記事項	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	「ごみ資源収集カレンダー」の発行		部	26,300	26,300	26,300
		衛生委員研修会の開催数	回	2	2	2

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
浅麓環境施設組合運営費分担金		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物(し尿・生ごみ)の適正処理</li> </ul>					
投入指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費		312,429 千円	306,364 千円	299,184 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		312,429 千円	306,364 千円	299,184 千円		
目的	一般廃棄物(し尿及び生ごみ)を広域で適正に処理する。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の安定稼働や運営改善について構成市町として検証し、処理経費の削減を図る。</li> <li>・生ごみの分別徹底や浅麓エココンポの利用促進について、広報こもろ等により住民へ周知する。</li> </ul>						
活動指標 特記事項	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	生ごみの処理単価		円/t	44,000	43,800	43,600

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
収集運搬運営事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無		
事業概要	・一般廃棄物等の収集運搬				
投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費	137,537 千円	137,837 千円	137,837 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	137,537 千円	137,837 千円	137,837 千円		
目的	一般廃棄物等の収集及び運搬業務を継続的かつ安定的に実施し、併せて一般廃棄物等の適正排出の徹底や減量化を図る。				
令和2年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集ルート及び収集方法の研究を行い、収集業務の効率化を図る。</li> <li>・集積所における不適正排出のごみについて、警告シールを活用し、正しい分別を呼び掛ける。</li> </ul>					
活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	収集及び運搬単価	円/t	15,000	14,800	14,600
特記事項					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
塵芥処理施設管理事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無		
事業概要	・一般廃棄物の最終処分及び水処理等の適正処理				
投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費	4,460 千円	4,210 千円	4,210 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	4,460 千円	4,210 千円	4,210 千円		
目的	野火附廃棄物埋立処理場を適正に管理する。				
令和2年度の目標					
野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかげを含む)の適正な維持管理を行う。					
活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	残渣の埋立量	t	0	0	0
特記事項					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
廃棄物減量リサイクル事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な減量化やリサイクルの施策を検討する市民会議の開催</li> <li>容器包装等資源物の適正なりサイクル処理</li> </ul>					
投入指標	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	年度別事業費		8,839 千円	8,839 千円	8,839 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		8,839 千円	8,839 千円	8,839 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物減量再資源化等推進市民会議で効果的な減量やリサイクルについて検討し、市の施策へ反映させる。</li> <li>資源物のリサイクルにより、燃やすごみの処理経費を抑制する。</li> </ul>					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量アドバイザーによる出前講座を開催する。</li> <li>ごみ減量アドバイザーの養成を行う。</li> <li>古紙類や古着等資源物の安定的かつ経済的なリサイクルルートを調査研究する。</li> <li>食品ロス削減やプラスチックごみの削減に向けた取組について検討する。</li> <li>資源回収報奨金制度について、廃止も視野に制度の見直しを検討する。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	ごみ減量アドバイザーの人数		人	15	15	15
特記事項						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
クリーンヒルこもろ運営事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無			
事業概要	燃やすごみの焼却及び資源物のリサイクル処理					
投入指標	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	年度別事業費		283,321 千円	284,417 千円	269,240 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	117,949 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		165,372 千円	284,417 千円	269,240 千円		
目的	クリーンヒルこもろの適正な管理運営を行う。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス自主規制値を順守した施設運営を行う。</li> <li>定期的に運営モニタリング会議を開催する。</li> <li>クリーンヒルこもろの環境学習スペースを活用し、環境学習を行う。</li> <li>事業系ごみ(燃やすごみ)の施設搬入時に展開検査を実施し、事業者に分別指導を行い、燃やすごみの減量化を図る。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	家庭系燃やすごみの年間排出量		t	4,885	4,880	4,875
事業系燃やすごみの年間排出量		t	1,980	1,970	1,960	
特記事項						

事務事業名		新規・継続		
清掃総務費給与費		継続		
会計・款・項・目		所管課		
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課		
投入 指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	年度別事業費	42,786 千円	67,785 千円	67,785 千円
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	42,786 千円	67,785 千円	67,785 千円

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-2	省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

所 管	生活環境課
関 連	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスによる地球温暖化の影響とみられる、異常気象や生態系の変化などが、世界各地で報告されている。このCO2を削減するため、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及促進が求められている。この対策のひとつとして、市民・事業者の環境に対する意識を高めていく必要がある。また、太陽光発電の推進は、今ある自然環境や景観との調和を図る必要がある。

#### ◆方針

目的
<p>今ある自然景観を守り育て、持続可能な地球環境にやさしいまちづくりを推進する。 市民・企業・行政が環境に対する意識を高め、それぞれの役割と責任を認識し、条例等に基づき自然環境や景観との調和を図りながら、太陽光や小水力などの再生可能エネルギーの活用を促進する。</p>

#### ◆今後の取り組みのうち令和2年度重点方針と目標

- ①太陽光発電設備設置事業者に対しガイドラインに沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成され自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。
- ②環境に対する市民の意識を高めるため、クリーンヒルこもろでの環境学習や、環境フェアなど関係機関等と連携し環境学習の機会を確保する。

#### ◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<ol style="list-style-type: none"> <li>①地球温暖化など、市民の環境に対する意識が高まっている状態。</li> <li>②省エネルギー機器の普及が促進され、再生可能エネルギーが活用された状態。</li> </ol>
設 定 理 由
<ol style="list-style-type: none"> <li>①市民の環境に対する意識が高まることにより、省エネルギーの推進や再生可能エネルギー活用の促進が図られるから。</li> <li>②省エネルギー機器が普及し、再生可能エネルギー活用が促進することにより、温室効果ガス排出量の削減につながるから。</li> </ol>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	ISO14001・エコアクション21などの認証を受けている企業の数						
設定理由	各企業が、自らの事業活動が地域に及ぼす影響と社会的責任の重要性を認識し、環境に配慮した事業活動を展開することが重要であるから						
算式						単位	団体
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	18	計画	20	21	22	23	
		実績	18	23			
指標名	市民が学ぶ環境学習の人数						
設定理由	環境に対する市民の意識を高めていくには、環境学習を進めることが重要であるから						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	802	計画	886	928	971	1,000	
		実績	1,280	1,041			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>①クリーンヒルこもろでの環境学習や、環境フェアなど関係機関との連携を図り環境教育を推進する。</p> <p>②太陽光発電設備設置事業者に対しガイドラインに沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成された自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。</p>
---

◆個別計画

環境基本計画／共に取り組むCO2削減計画こもろ23(地球温暖化対策地域推進計画)
--

◆特記事項

--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
環境対策費運営費		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・4環境対策費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車騒音、河川や地下水の水質、大気汚染等の調査の実施</li> <li>・再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進</li> <li>・公害防止監視活動の実施</li> </ul>					
投入指標	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	年度別事業費		3,714 千円	2,820 千円	2,766 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,695 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,019 千円	2,820 千円	2,766 千円		
目的	自然環境や生活環境を保全するため、水質や大気等の実態把握のほか、地球温暖化防止に関する取り組みを推進する。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園児・小学生と保護者を対象とした省エネルギー教室・環境教室を開催する。</li> <li>・オオキンケイギク、オオハングソウなどの特定外来植物の駆除に向けた啓発活動を行う。</li> <li>・水資源保全のため佐久地域水循環計画の策定について、近隣自治体と協力して取り組む。</li> <li>・今ある自然環境や景観と調和を図りながら、再生可能エネルギーの導入推進に努める。</li> <li>・太陽光発電設備設置については、適正な事業実施や地域住民との合意形成等、事業者に必要な指導を行う。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	水質や大気等の検査総検体数(年間)		箇所	169	169	169
	省エネルギー教室・環境学習の参加人数		人	180	190	200
特記事項	■4-1-4-97公害防止監視事業をH27年度に統合■					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
環境衛生費運営費		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久広域連合への負担金の交付</li> <li>・浅麓水道企業団への負担金の交付</li> <li>・飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金の交付</li> </ul>					
投入指標	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	年度別事業費		29,619 千円	29,784 千円	29,784 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	503 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		29,116 千円	29,784 千円	29,784 千円		
目的	市民の衛生的で快適な生活を維持するため、佐久広域連合、浅麓水道企業団等に対して必要な経費を負担する。					
令和2年度の目標						
関係機関に対して継続して必要な経費を負担する。 猫の不適切管理に基づく生活環境の悪化を防ぐため、飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金を用いて適切な飼育管理および動物愛護の意識高揚を図る。						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	関係機関が主催する会議の出席回数		回	2	2	2
	飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金交付件数		件	50	50	50
特記事項						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
狂犬病予防事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課	1:無			
事業概要	・犬の登録及び狂犬病予防注射の実施					
投入指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費		905 千円	905 千円	905 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	905 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		0 千円	905 千円	905 千円		
目的	狂犬病の脅威から市民を守るため、犬の登録の徹底と狂犬病予防注射の実施率向上を図る。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の登録の徹底と狂犬病予防注射の実施率向上のための啓発を継続して実施する。</li> <li>・狂犬病予防注射未実施者に対して、獣医師会と協力して個別勧奨を実施し、実施率の向上を図る。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	狂犬病予防注射の実施率		%	94	94	94
特記事項						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
高峯聖地公園費運営費		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・6高峯聖地公園費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高峯聖地公園の管理運営</li> <li>・一般聖地及び合葬式聖地の貸付</li> <li>・清掃手数料の徴収</li> </ul>					
投入指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費		22,589 千円	11,100 千円	11,100 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	22,589 千円	7,600 千円	7,600 千円	
一般財源		0 千円	3,500 千円	3,500 千円		
目的	霊園にふさわしい環境を維持するため、使用者から清掃手数料を徴収し、高峯聖地公園内の植栽の手入れやトイレ・ゴミ箱の清掃等を中心に適正な管理を行う。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合葬式聖地について、今後の必要性も見込み増設工事を検討する。</li> <li>・春と秋の彼岸やお盆の時期を中心に、聖地公園内の適正な維持管理を行う。</li> <li>・清掃手数料未納者と接触する機会を増やし、未納の解消を図る。</li> <li>・一般聖地空き聖地の解消に向け、引き続き広報等への掲載や石材店等関連する業種に募集公告を配布する。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	維持管理業務に係る月平均作業回数		回	6	6	6
特記事項	清掃手数料未納者の人数		人	8	8	8

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
不法投棄対策事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無		
事業概要	・不法投棄の防止対策				
投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費	576 千円	3,501 千円	3,116 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	576 千円	3,501 千円	3,116 千円		
目的	不法投棄をなくすことにより、地域の生活環境の保全を図る。				
令和2年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な不法投棄監視パトロールや不法投棄防止啓発看板、監視カメラの設置により、不法投棄の防止を図る。</li> <li>不法投棄多発箇所のパトロールを強化し、関係機関や衛生自治会、区と連携して対策を講じる。</li> <li>不法投棄の防止について衛生自治会を通して住民に啓発を行い、地域ごとにごみを捨てられない環境づくりを進める。</li> </ul>					
活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	不法投棄ごみの回収量	kg	14,500	14,000	13,500
特記事項					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
環境美化・緑化対策事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動の実施</li> <li>保存木等の維持管理に関する周知</li> </ul>				
投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費	1,973 千円	1,973 千円	1,973 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,973 千円	1,973 千円	1,973 千円		
目的	住民の景観に対する意識を高めるため、景観形成活動に参加する場を設ける。 景観緑化を通じ、地域のコミュニケーションの場を設ける。 ゴミの投げ捨て抑制を図るため、道路沿線に花を植える。				
令和2年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動 運動の改善やPRなどに取り組む。また、引き続き市民の方の緑に対する意識の高揚を図るため、参加者からアンケートを取り、今後の取組みについて検討する。</li> <li>保存木維持管理事業 保存木登録者に対し、保存木指定の目的等を広報やパンフレットの配布により周知を図る。</li> </ul>					
活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	花いっぱい運動の参加団体数	団体	76	76	76
	花いっぱい運動の花苗の配布数	本	55,000	55,000	55,000
特記事項					

事務事業名			新規・継続		
環境衛生費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費			生活環境課		
投入 指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		35,533 千円	31,710 千円	31,710 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	3,137 千円	0 千円	0 千円
一般財源		32,396 千円	31,710 千円	31,710 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-3	市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

所 管	下水道課
関 連	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

小諸市内の生活排水処理事業は、7つの処理場、310kmを超える下水道管と、約2,100基の合併処理浄化槽により運営している。整備状況の指標となる‘汚水処理人口普及率’は98.3%、利用状況を示す‘汚水処理率’は90.6%と、整備拡大の時代から利用拡大と施設管理の時代に移り変わってきている。

今後は、未整備区域153haの利用密度が低い地区での施設整備方法と、利用拡大を目的とした普及促進方法の検討と実施から、利用人口の拡大を図り、効率化と危機分散の相反する課題を整理しながら処理区統合を計画するとともに、膨大な下水道施設を持続可能な設備としていくために、適切な点検・調査と更新をサイクルとした計画の運用を軌道に乗せる必要がある。

#### ◆方針

目的
①個別処理方式による整備方法を選択肢に入れ、未整備地区内の利用予定者の意向確認と整備方法とのマッチングを図る。
②下水道未接続の多くが経済的理由によるものと思われるが、現状の普及促進活動を継続するとともに、集合処理区域内で浄化槽を利用する世帯への接続換え依頼に注力する。
③処理区統合の準備作業となる農集定額制地区の従量制への移行と、長野県単位で取組む‘水みち2015’構想の見直し作業において、処理区の統合方法を再考する。
④作成中のストックマネジメント計画の実行期間となることから、計画に基づいた業務を確実に行う。

#### ◆今後の取り組みのうち令和2年度重点方針と目標

○和田中央幹線の破損区間の更新改修工事を実施する。

○目の当たりにした台風19号による被害状況を教訓に、不安を少しでも軽減できる対策案(施設バックアップ計画)を作成する。

#### ◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①当計画期間内に、管路施設の概成を図る。②集合処理区域内で利用されている浄化槽設置世帯に対し、当計画期間内で最低1回の接続換え依頼を行う。③農集八満地区使用料金の従量制への移行を当計画期間内で完了させる。‘水みち2015’構想の見直しを令和4年度当初までに完了させる。④腐食破損する危険性の高い汚水管路の内、当計画期間内において12%の更新工事を完了する。
設定理由
①処理方法と整備時期を明確にできない状況が、下水道事業者と利用者ともに不利益になるため。
②浄化槽の効果は、保守点検・清掃を伴わないと発揮されないことから、集合処理方式地区内においては早期の接続換えが、公共水域の保全に連結するため。
③計画に沿って事業を進めるため。
④管路施設の管理において、最も不安を感じている状況を早期に解消するため。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	快適生活率(汚水処理率)						
設定理由	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽による汚水処理施設の利用を促進し、暮らしの快適さ満足度の向上と、汚水放流の更なる減少を目指すため。						
算式	計画に沿った処理方式の汚水処理施設を利用する人数÷行政人口＝					単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	85.9	計画	86.9	90	92	93	
		実績	89.2	90.6			
指標名	松井川雨水排水路(総合体育館付近)の水質調査によるBOD測定値						
設定理由	公共用水域保全の状況を確認する。(年6回測定 目標値は平均値とする) ※松井川は環境基準値なし。下流千曲川の環境基準(河川)基準値は2mg/L以下(水域類型A)						
算式						単位	mg/L
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	1.23	計画	2以下	2以下	2以下	2以下	
		実績	1.2	1			
指標名	不安を抱える下水道管延長						
設定理由	汚水処理事業を継続して運営するため、事業の基盤となる設備の健全化を図る。						
算式						単位	km
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	9.4	計画				0.3	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>①未整備地区内の利用予定者の下水道利用意向を把握し、管路整備計画との調整により、結果を次期事業認可計画に反映させる。</p> <p>②リストの作成により浄化槽利用状況を明確にし、定期的な訪問により接続換えを依頼する。</p> <p>③農集八満地区使用料金の従量制への移行について、区単位での説明会を通じて周知を図り、組合役員との協議による方法にて意思確認を図る。</p> <p>④ストックマネジメント計画による施設更新順位に応じて、管路更新工事を実施する。</p>
---

◆個別計画

<p>環境基本計画／「水循環・資源循環のみち2015」構想／生活排水処理計画／社会資本総合整備計画／地域防災計画／公営企業経営健全化計画／経営戦略</p>
---

◆特記事項

<p>従来の指標「汚水処理施設未接続家屋数」を、「不安を抱える下水道管延長」に変更した。</p>
--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農業集落排水 収益的事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
集排		下水道課	1:無			
事業概要	農業集落排水事業における事業収益に関すること。 使用料の賦課徴収 施設の維持管理 普及促進(接続率向上) 企業債の利子償還 給与費					
投入指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費		308,617 千円	327,486 千円	269,434 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	317,526 千円	352,670 千円	290,612 千円	
一般財源		-8,909 千円	-25,184 千円	-21,178 千円		
目的	今後到来する人口減少に向け、ストックの適正化を図ることで維持管理の軽減を実現化し、持続的に効率良く生活排水等の処理を行う。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未接続組合員の現況調査を行って普及活動につなげる。</li> <li>・使用料等未納者に対する催告書の送付と訪問による滞納整理を定期的に行い、現年収納率の向上を図る。</li> <li>・八満地区使用料の従量制移行について、令和5年度の切替えを目指し対象組合員に対する説明会を実施した上で移行の同意を得る。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	水洗化率		%	86	87	88
	収納率(現年度)		%	99.5	99.5	99.5
特記事項	平成30年度から公営企業会計に移行したため「一般管理費運営費」を「農業集落排水 収益的事業」に変更					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農業集落排水 資本的事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
集排		下水道課	1:無			
事業概要	農業集落排水事業における投資に関すること 農業集落排水事業分担金の賦課徴収 企業債の元金償還					
投入指標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費		109,412 千円	116,000 千円	105,974 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	43,726 千円	45,761 千円	38,278 千円	
一般財源		65,686 千円	70,239 千円	67,696 千円		
目的	今後到来する人口減少に向け、ストックの適正化を図ることで維持管理の軽減を実現化し、持続的に効率良く生活排水等の処理を行う。					
令和2年度の目標						
令和3年度末に森山地区を特環へ統合する予定。処理施設の後利用や接続工事等が円滑に進むよう関係機関と連携して計画的に進める。 起債残高の管理と起債償還表に基づき企業債元金の償還を行う。						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	施設管理数		施設	5	5	4
特記事項	平成30年度から公営企業会計に移行したため「施設管理費運営費」を「農業集落排水 資本的事業」に変更					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
浄化槽設置・維持管理促進事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課	1:無		
事業概要	公共下水道の認可区域及び農業集落排水の整備区域以外(浄化槽整備区域)で汚水や生活雑排水の処理を行うには、合併処理浄化槽の設置が必要となる。当事業は、この区域内において合併処理浄化槽の設置や維持管理に要する経費に対する補助を実施することで、生活排水による水資源の汚染を防ぐとともに、快適な住環境の実現を促進する。				
投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費	63,746 千円	67,956 千円	68,566 千円	
	特定財源 国・県支出金	12,088 千円	13,136 千円	12,926 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	51,658 千円	54,820 千円	55,640 千円		
目的	浄化槽設置整備事業補助金により、合併処理浄化槽の新設及び汲取り又は単独浄化槽からの転換を促進する。また、設置された浄化槽に対し、維持管理補助金で浄化槽の保守点検、清掃及び法定検査に要する費用の一部を助成し、浄化槽の適正管理を支援する。				
令和2年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽整備区域内における48基の合併処理浄化槽の設置を目指して、設置費用に対する補助金を交付する。</li> <li>・助成制度の効果的な周知により合併処理浄化槽の適正な維持管理につなげる。</li> <li>・法定検査不適正判定及び保守点検未実施の浄化槽管理者に対して、県と連携して早期改善を促す。</li> <li>・公共下水道事業及び農業集落排水事業の普及促進と連携した取り組みを実施する。</li> <li>・維持管理補助申請状況から助成の費用対効果を把握して、今後の有効な補助の在り方(補助区分・額)について検討していく。</li> </ul>					
活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特記事項	浄化槽設置基数	基	48	46	45
	浄化槽保守点検実施率	%	100	100	100
・令和2年度より、「下水道環境費給与費」「浄化槽設置整備事業」「浄化槽維持管理補助事業」の3事業を統合し「浄化槽設置・維持管理促進事業」とする。					

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
下水道事業会計繰出金		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課	1:無		
事業概要	【繰出金】 ・地方公営企業法等の基本原則を堅持しながら、小諸市公共下水道事業及び小諸市農業集落排水事業の経営の安定化を図るため、国の繰出基準に基づき、一般会計から繰出金を支出する。				
投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	年度別事業費	630,762 千円	607,209 千円	578,357 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	630,762 千円	607,209 千円	578,357 千円		
目的	小諸市公共下水道事業及び小諸市農業集落排水事業の経営の安定化を図るため、国の基準に基づき一般会計から各事業会計に繰出しを行う。				
令和2年度の目標					
小諸市公共下水道事業及び小諸市農業集落排水事業における目標の達成により、一般会計からの繰出金を減らす。					
活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特記事項	令和2年度より、「公共下水道事業会計繰出金」と「農業集落排水事業会計繰出金」を統合して「下水道事業会計繰出金」とする。				

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公共下水道 収益的事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
下水道		下水道課	1:無			
事業概要	公共下水道事業における事業収益に関すること 公共下水道使用料の賦課、徴収 下水道施設の維持管理 下水道の普及促進 企業債の利息償還					
	投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		年度別事業費	1,158,481 千円	1,124,783 千円	1,144,306 千円	
		特定財源 国・県支出金	0 千円	2,000 千円	2,000 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他		1,186,941 千円	1,122,783 千円	1,142,306 千円		
一般財源	-28,460 千円	0 千円	0 千円			
目的	公共用水域の保全と衛生的で快適な生活環境を図るため、普及促進を行い健全な経営と施設の維持管理に努める。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度に策定する次期長寿命化ストックマネジメント計画に伴い適切な施設の維持管理を行う。</li> <li>・普及促進活動により下水道使用料の収納率99.5%を目指し、接続率63%を目指す。</li> <li>・浅麓汚泥再生センターの再稼働に向けた施設運営の検討を行う。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	下水道使用料収納率(現年度)		%	99.5	99.5	99.5
	公共下水道等接続率		%	63	63.5	64
特記事項						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公共下水道 資本的事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
下水道		下水道課	1:無			
事業概要	公共下水道事業における投資に関すること 下水道施設の建設費 下水道受益者負担金 企業債の元金償還					
	投入指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		年度別事業費	930,644 千円	1,044,171 千円	982,907 千円	
		特定財源 国・県支出金	47,500 千円	138,850 千円	96,950 千円	
		地方債	317,400 千円	355,600 千円	295,200 千円	
その他		139,072 千円	124,542 千円	127,149 千円		
一般財源	426,672 千円	425,179 千円	463,608 千円			
目的	快適な住環境と持続可能な水環境を創出するため、下水道により生活排水等を衛生的かつ効率的に処理を行うため森山地区の統合を進め、ストックマネジメント計画に基づき施設の更新を行い公共用水域の保全を図る。					
令和2年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農集森山地区の和田特環への接続に伴い、中継ポンプ場および圧送管渠の工事を実施する。</li> <li>・施設を適切に管理するためストックマネジメントに基づき硫化水素の影響を受け破損した管路の更新工事を行う。</li> <li>・古城地区において松井川改良工事を実施する。</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	受益者負担金収納率(現年度)		%	99	99	99
	未普及地域内の汚水処理方法の決定面積		ha	50	100	163
特記事項						